

寺報

令和二年三月

第八十五号

正念寺護持会発行

常陸太田市久米町二十一

電話 〇二九四一七六一二〇五八

FAX 〇二九四一七六一〇一六九

永代経の話

永代経と混同されがちな言葉に「永代供養」があります。どちらも「永代」と付くためだと思われませんが、その意味はまったく違うものになります。永代供養とは、簡単に言ってしまうと「永代供養料」を懇志として出すことによって、寺院がご遺族に代わって永代に追善供養をすることを言います。

それに対して、永代経とは、永代にわたってお経の教えが伝わるために、生きている私が仏法を聴き、その教えを永代（代々）にわたって伝える、そしてお念仏の道場（寺院）が、永代にわたって存続し、お念仏のみ教えがいつまでも繁栄することを願って行われる法要が「永代経」になります。

私たち浄土真宗では、故人は私たちの

世界での命が終わったら「浄土（清らかな世界）」に生まれて、生まれた瞬間に「悟り」を開かれて仏陀となり、私を救うために働いて下さる、と考えております。ですから、追善供養をするような「地獄・餓鬼道・畜生道」などの苦しみの世界に落ちていない。むしろ、今この瞬間も「私」を救うために「教え」を説いて下さっている。その「教え」



昔ながらの念仏道場(五箇山)

を聞く場所（道場）を永代にわたって守っていくというのが、永代経の意味でもあります。

さて、浄土真宗の寺院は、もともととお念仏の道場として始まりました。その様な理由もあって、「外陣」と呼ばれる参詣の間が広くとられております。外陣に対して「内陣」は極楽浄土の世界を表していると言われます。ですから金箔が多く使われ、仏陀の

智慧の光を現す「ロウソク」と、同じく仏陀の慈悲を表す「生花」が飾られます。

先ほど「お念仏の道場」という言い方をしましたが、念仏というと「呪文」のようなものと思っている方も多いのではないのでしょうか。では、南無阿彌陀仏のお念仏はどういう意味でしょうか。実はこの言葉は、インドの言葉を漢字に置き換えたものなのです。もとの意味は、「計り知れない光と計り知れない命を持つ仏陀にお任せします」という事になります。つまり、真実に暗い私に対して、真実への道筋を照らして下さる光を信じ、照らされた道筋に私の全てをお任せして歩みます。ありがとうございます。」という意味の込められた言葉が「南無阿彌陀仏」になります。

このお念仏を頂いて、次の世代に繋いでいく。そして、お念仏のお謂われを聴かせて頂く道場を次の世代に繋いでいく。これが「永代経法要」をお勤めさせて頂く意味であると聴かせて頂いております。



現代のお寺(築地本願寺)



海外のお寺(本願寺ハワイ別院)

参れ〜寺カード十ポイント達成報告

参れ〜寺カードの十ポイント達成者が、新たに誕生しましたのでご紹介いたします。猪口治三様、橋本貢様、安二郎様の三人。井坂ヨシエさんは、早くも二十ポイントを達成されました。正念寺の法要や行事、聞法会への参加や、奉仕作業や各地で行われているお取り越し等でポイントが貯まりまゝす。是非、沢山の方に記念品をお渡しできることを期待しております。



猪口 治三様

※今回、橋本貢様と安二郎様の写真が間に合わなかった事をお詫び申し上げます。

寺院巡り旅行のご案内

今年の寺院巡りは、お釈迦様のお骨(仏舎利と言います)をミャンマーの寺院から贈られた「仏照寺」様にお参りさせて頂きます。また仏照寺様の他、群馬県の蓮照寺様も参拝させて頂きながら、磯部温泉で身体を休めつつ楽しい旅行にしたいと存じます。

日程 五月二十六日(火)〜二十七日(水)
 参加費 三万一千円
 募集人員 二十名
 出発地 久米・農協駐車場(出発時間は、七時三十分)

お寺でライブ? 第四回

今回の「お寺でライブ?」は、花祭りコンサートを四月五日(日)に正念寺本堂において行います。このコンサートは、毎回満堂になっており、主催している側としては嬉しい限りです。次回のコンサートも楽しいものになると思います。是非皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

報恩講法要巡り報告

今回の報恩講法要巡りで三回目になりますが、参加者も徐々に増えて来まして有り難い事です。

下記写真は、表彰式に出席された方の集合写真ですが、正念寺のご門徒は、小菌俊秀様・坪井幸雄様です。当日出席された方は、七名でしたが、どうしても出席できなかった方も含めると、記念品をお渡しできた方は、全部で十二名になります。



帰願寺様から参加の方々

ところで、一緒に回っていた副住職によると、他にも少なくとも三名ほどいるようなのですが、どこかでの記事を目にしましたら、是非正念寺までご連絡ください。



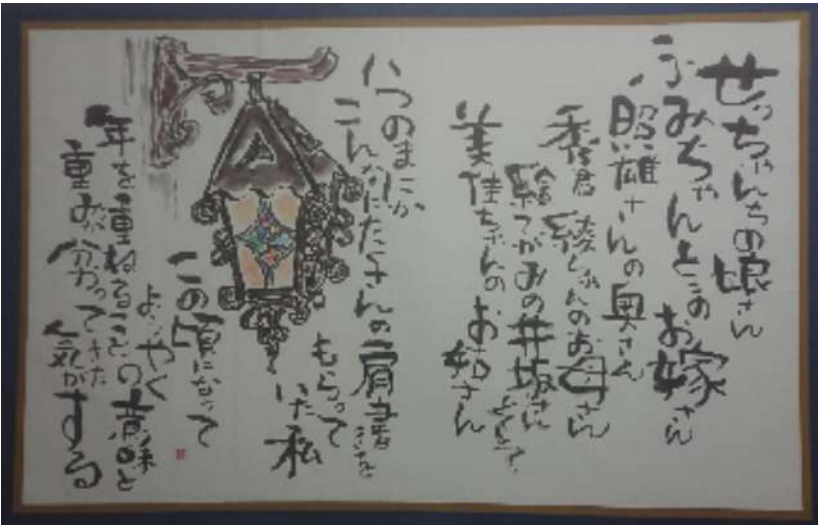
井坂ヨシエ様 岩間猛様(聞法会々員)



表彰式出席者(2019年12月18日)

絵手紙紹介

今回も井坂 順子様
の素敵な絵手紙を二点ほど紹介させていただきます。



これからの行事予定

今後の正念寺の行事をご連絡いたします。

令和二年

三月十三日(金)

グラウンドゴルフ

三月二十日

彼岸会法要

(午前は本堂・午後は納骨堂にて)

四月五日(日)

花祭りコンサート

六月二十三日～二十四日

寺院巡り(土浦～群馬)右ページ参照

八月九日

歓喜会法要

なお、毎月八日は聞法会を行っておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



感謝録

前回の寺報に記載以降にお仏供米をご奉納戴きました。ここに謹んでご報告させて頂きま

す。 二月十五日現在

那珂市

箕川 政一様

ご奉納戴きましたお仏供米は大切に使用させて頂きます。

その他、報恩講法要や永代経法要に際し、また常日頃から農業をされている方々から、いろいろな野菜などのご奉納も戴いております。ここにご報告と感謝を申し上げます。

正念寺ホームページのご案内

正念寺ではホームページがございます。常陸太田・正念寺で検索していただけます。「正念寺」のホームページが出てきます。

スマートフォンなどからは、下記QRコードを読み込んでください。



鐘楼と正念寺の庭より

住職雑感

新型コロナウイルスが猛威をふるっております。寺の法要も含めて、人の多い場所に出かけることを躊躇される方も多いかと思えます。

厚生労働省のホームページに、感染予防にはまず石けんやアルコール消毒液などによる手洗いを行う。そして、咳などの症状があれば、咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触ったドアノブなど周囲のものにウイルスが付着し、そこを介して他者に病気をうつす可能性があるので、咳などの際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使い、口や鼻をおさえてください。特に電車や職場、学校などが集まるところで行うことが重要です、とあります。

未知のウイルスであり、色々と心配になる方も多いかと思えます。しかし大事なことは、いたずらに心配をするのではなく、今できることをキチンと行う、と言う事では無いでしょうか。

何事も、出来ることから一つずつ。その積み重ねが大事なことだと思います。今頃になってやっと気付かされましたが、いつになっても遅すぎるという事は無いと思います。

ウイルス対策も命の対策も積み重ねが大事。